

- 平成31年4月より、都立（総合）精神保健福祉センターを東京都における依存症相談拠点として設定
- 令和4年度の主な取組状況等は、以下のとおり

## 1 相談支援

### ○アルコール関連相談件数の状況 (単位：件数)

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2,774	2,601	2,990

(月報（福祉・衛生行政統計）より)

※アルコール関連…アルコール、ギャンブル等、その他アディクション

### ○コロナ禍をきっかけとした本人・家族等からの主な相談状況（令和4年度）

- ・昨年に引き続き、生活スタイルの変化（在宅ワーク等）や職を失ったなどの理由で、飲酒量が増加したという相談が一定数寄せられており、センターでの相談支援や他の関係機関を紹介するなどの対応を実施

No.	相談内容	対応経過
①	・仕事のストレスで飲みすぎ、酒癖が悪くなった本人の相談	・医療機関を紹介
②	・家族のアルコール問題で相談 ・飲酒する兄が、コロナ感染後解熱と共に飲酒再開	・家族講座へつなぎ、自助グループにつないだ
③	・コロナ禍で仕事がなくなり、酒量が増えた。朝から飲み、仕事を休むなど生活に支障	・家族教室を案内
④	・自営で塾経営をしていたが、オンライン授業になり合間に飲酒	・家族教室及び民間相談機関を紹介
⑤	・クリニックの家族会が、コロナで2年間閉鎖。その間に本人の症状が悪化。家族としての対応を学びたい	・家族教室及び民間相談機関を紹介

## 2 グループワーク

### ○アルコール関連のグループワークの状況

- ・外出の機会が減り、在宅時間が延長したことでの家族関係の変化や、自助グループや家族会が休止やオンライン開催となり、実際に人が集まる場を求めて参加する人などがセンターの回復プログラムや家族講座へ参加している（センターでのグループワークは継続して実施しているため、関係機関からの紹介で参加するケースもあり）
- ・回復プログラムや家族講座の実施にあたっては、コロナ禍での不調や工夫について取り上げるなど、講師や助言者等とも情報交換を行いながら取組を進めている

（単位：回数）

令和2年度	令和3年度	令和4年度
186	245	232

（月報（福祉・衛生行政統計）より）

※グループワーク…家族講座、回復プログラム等  
アルコール関連…アルコール、ギャンブル等、その他アディクション

## 3 研修

### ○依存症支援者研修事業

- ・令和3年度より、区市町村等の職員を対象に、依存症の方等に対する支援を行う人材を養成することを目的とした依存症対策総合支援事業に基づく「依存症支援者研修」を実施

#### ◀ 依存症相談対応研修 ▶

- ・相談支援経験のある関係機関職員を対象にスキルアップを目的として実施

【令和4年度開催実績】

- ◆ 「アルコール依存症について理解し支援に活かす」（令和4年8月開催）
- ◆ 受講者数：21名

#### ◀ 地域生活支援研修 ▶

- ・依存症に関する基本的な概要や支援に関する知識の伝達を目的として実施

【令和4年度開催実績】

- ◆ 「アルコール依存症の理解と対応」（令和4年12月開催）
- ◆ 受講者数：227名

※上記のほか、従来から実施しているテーマ別の研修も実施

## 4 普及啓発

### ○依存症対策普及啓発フォーラム

- ・ 依存症に関する正しい知識等に関する情報発信等を行うため、都民の方等を対象とした「依存症対策普及啓発フォーラム」を実施
- ・ アルコールのほか、薬物やギャンブル等依存症も含めたテーマで依存症に関する情報を発信  
(令和4年度においても会場とオンラインの併用で開催)

≪ 令和4年度の実施内容 ≫ (参加者：360名)

#### 【基調講演テーマ】

- ◆ 思春期・青年期の依存症の理解  
(埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也)

#### 【トークショー】

- ◆ 落語「動物園」 トークショー 「必死のパッチで逆境から夢を掴む」  
(落語家 桂 雀々 師匠)

#### 【トークセッション】

- ◆ ～今若者に起きていることと、依存症～  
(特定非営利法人BONDプロジェクト 代表 橋 ジュン)  
(特定非営利活動法人ジャパンマック  
サポートセンターオ`ハナ 統括施設長 枇杷 優子)  
(埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也)

## 《 依存症対策フォーラム チラシ 》

令和4年度 東京都依存症対策普及啓発フォーラム  
東京都福祉保健局

# 若者のこころと依存症

会場 オンライン及び一橋大学一橋講堂(千代田区)  
定員 400名  
要申込 11月11日(金)締切 参加無料  
令和4年 11月18日(金)  
13:00~16:30  
12:30開場

講演  
【東京都における依存症対策の動向について】  
東京都福祉保健局 障害者医療担当部長 石黒 雅浩  
【思春期・青年期の依存症の理解】  
埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也

落語&トークショー  
落語「動物園」  
トークショー「必死のパッチで逆境から夢を掴む」  
落語家 桂 雀々 師匠

トークセッション  
～今若者に起きていることと、依存症～  
座長 東京都立中部総合精神保健福祉センター 副所長(特定非営利活動法人) 菅原 誠  
特定非営利活動法人BONDプロジェクト 代表 橋 ジュン  
特定非営利活動法人ジャパンマック サポートセンターオ`ハナ 統括施設長 枇杷 優子  
埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也

申込方法(下記のいずれか)  
①専用ホームページ  
②E-mail  
③FAX  
④往復はがき(1人1枚)  
⑤電話

アクセス  
一橋大学一橋講堂  
東京都千代田区一ツ橋2丁目1-2  
東京メトロ半蔵門線ほか 神保町駅(A8-A9 出口)徒歩5分  
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b 出口)徒歩5分  
※詳細情報により、会場とオンライン併用になる場合があります。

フォーラム運営事務局(東京都)  
〒104-0045  
東京都中央区築地2-7-12 山京ビル708  
https://www.iomsho-forum.metro.tokyo.lg.jp/  
E-mail: iomsho@welfare.typh.co.jp  
TEL: 03-6264-0577 FAX: 03-6264-0569

## 5 連携会議

- ・ 医療関係者や行政機関、民間団体等で構成する地域の連携会議を都立(総合)精神保健福祉センターで実施し、関係機関の連携強化を図る

- ◆ 中部総合精神保健福祉センター：令和4年7月25日開催
- ◆ 多摩総合精神保健福祉センター：令和4年12月9日開催
- ◆ 都立精神保健福祉センター：令和4年10月17日開催

引き続き、依存症相談拠点における支援の充実に向けて、取組を検討・実施していく